

令和4年度における本協議会の活動報告



水防災意識社会
再構築ビジョン

1. 各種協議会の開催概要

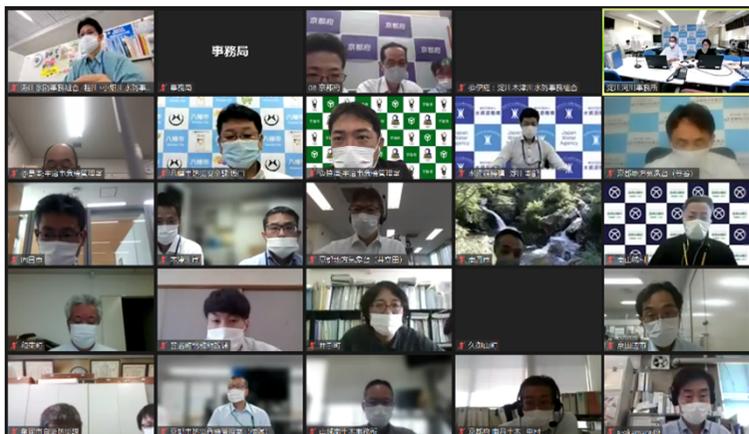
■ 行政ワーキングの開催

活動報告

- 令和4年度は、行政ワーキンググループ（京都府域、大阪府域）を行いました。
- 令和4年度の重点取組である「要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施」の先進事例について確認しました。
- 令和4年度の支援内容や、出水前のリモート会議の開催について意見交換を行いました。

会議名	開催回数	開催時期
行政ワーキンググループ（京都府域）	1回	令和4年 6月 3日（金）
行政ワーキンググループ（大阪府域）	1回	令和4年 5月30日（月）

議論結果
<p>● 重点取組(案)について</p> <p>【京都府域】 訓練はコロナ禍で実施できていないところもあるが、コロナの感染状況を見ながら各施設に依頼していく。</p> <p>【大阪府域】 避難確保計画の問題点について、訓練をすることで問題の洗い出しができる。訓練実施につながるよう担当者と相談して今後の対策を検討していきたい。</p> <p>● 出水前のリモート会議について</p> <p>【京都府域】 積極的かつ効率的なリモート会議の実施方法について 主要関係部局間で調整し、実施内容を検討していきたい。</p> <p>【大阪府域】 リモート会議開催のタイミングが出てきたら、リモート会議の場を設けておくので、今年度はまず試行的に取り組んでいきたい。</p>



京都府域 (6/3)



大阪府域 (5/30)

議論詳細

- 京都府域：要配慮者利用施設への説明を実施し、理解向上を図り、訓練の実施率を引き上げたいと考えている。
- 大阪府域：要配慮者利用施設側にとって訓練のやり方がわからないので、訓練動画等のデータを提供していただきたい。

1. 各種協議会の開催概要

■ 首長会議の開催

活動報告

- 令和4年度は、首長会議(京都府域、大阪府域 各1回)を開催しました。
- 令和3年度の活動を報告するとともに令和4年度の重点取組である「要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施」の先進事例について確認しました。
- 大規模水害に対する迅速な避難に関する意見交換を行いました。

会議名	出席首長数	開催時期
首長会議(京都府域)	8名	令和4年 7月 1日(金)
首長会議(大阪府域)	3名	令和4年 7月11日(月)



京都府域 (7/1)



松村宇治市長 奥田城陽市長



堀口八幡市長 上村京田辺市長 河井木津川市長 信貴久御山町長 中笠置町長 平沼南山城村長



大阪府域 (7/11)



濱田高槻市長 福岡茨木市長 山田島本町長

議論結果

● 議題: 水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携

【京都府域】

行政機関の「連携」による避難の呼びかけ、避難の「計画・訓練」と「意識改善」、平時から減災対策の「共有」や「連携」が重要である。

【大阪府域】

「早めの避難」の呼びかけ、避難の「計画・訓練」と「意識改善」、安全な避難のための「連携」や「共有」が重要である。

議論詳細

- **京都府域**: 住民が個別に情報収集できるという点で、アプリを通じて情報の発信も有効。アプリによって一元的な情報の収集が可能となり、広域避難に関する意思決定の円滑化や避難方法の選択肢が増えるなど、逃げ遅れゼロの実現にも活用できる。
- **大阪府域**: 避難場所の確保として、該当施設との協定締結の取組を続けていくことが必要。民間との連携に関する先進事例や取組等を提供いただきたい。

1. 各種協議会の開催概要

■ブロック別会議の開催

活動報告

- 令和4年度は、ブロック別会議(京都府域:桂川、宇治川、木津川中流、木津川下流、大阪府域:淀川中流、淀川下流、各ブロックで開催)を行いました。
- 令和4年度のソフト対策の実施予定、支援希望内容や国の新たな事業展開について、情報・認識を共有しました。

会議名	開催回数	開催時期
桂川ブロック	1回	令和4年 8月25日(木)
宇治川ブロック	1回	令和4年 8月30日(火)
木津川 中流ブロック	1回	令和4年 8月26日(金)
木津川 下流ブロック	1回	令和4年 8月24日(水)
淀川 中流ブロック	1回	令和4年 8月23日(火)
淀川 下流ブロック	1回	令和4年 8月31日(水)

市町からの支援要望

- ・ まるごとまちごとハザードマップの設置支援(京都市、亀岡市、城陽市、八幡市、久御山町、笠置町、高槻市、枚方市)
- ・ 地区タイムライン・マイタイムラインの作成支援(宇治市、長岡京市、大山崎町、高槻市、枚方市、茨木市)
- ・ 小中学生向け出前講座(亀岡市)
- ・ マイ防災マップの作成支援(高槻市、枚方市)
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援(京田辺市)
- ・ 勉強会・研修会の実施支援(大山崎町、大阪市)
- ・ 電源を確保できる防災公園等の事例、補助制度の情報提供(吹田市)
- ・ 職員向け風水害防災訓練の支援(茨木市)
- ・ クロスロードゲーム(水害編)の提供(茨木市)
- ・ 避難訓練の実施支援(摂津市、東大阪市)
- ・ 平成25年台風18号時の航空写真等の提供(島本町)

議論詳細

- 要配慮利用施設における避難確保計画の作成は水防法の改正で義務付けしたが、訓練の実施には動画化が有効である。
- 流域タイムライン(河川管理者用)の作成では、Web会議の実施に向けて検討を進める。
- 市区町村タイムラインの活用状況の確認を実施。

1. 各種協議会の開催概要

■ 鉄道ワーキンググループの開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の取組内容、規約の変更案について説明しました。
- 今後の鉄道会社との連携に向けて、自治体からの確認事項、鉄道会社からの確認事項、令和4年度連携事業について意見交換を行いました。

会議名	開催回数	開催時期
鉄道ワーキンググループ(合同)	1回	令和5年 1月24日(火)

議論結果

- Lアラートへの参画は、各鉄道事業者共に参画のメリットを強く感じてはいない状況で、参画に消極的な意見が多く出された。
- 計画運休の連絡系統として運輸局から各府県、政令指定都市に情報伝達されるが、府から市町への連絡系統に問題があり、今後、府・市町間の連絡系統を明確にしていく必要がある。
- 避難誘導については、多くの鉄道事業者からは、災害発生時の避難誘導は困難であるが、避難場所等の地図コピーの設置・配布や災害発生時の避難場所等の周知の協力は可能と回答あり。
- 各市町からは、避難場所、防災アプリ、防災訓練等に関するチラシやポスターの設置要望あり。

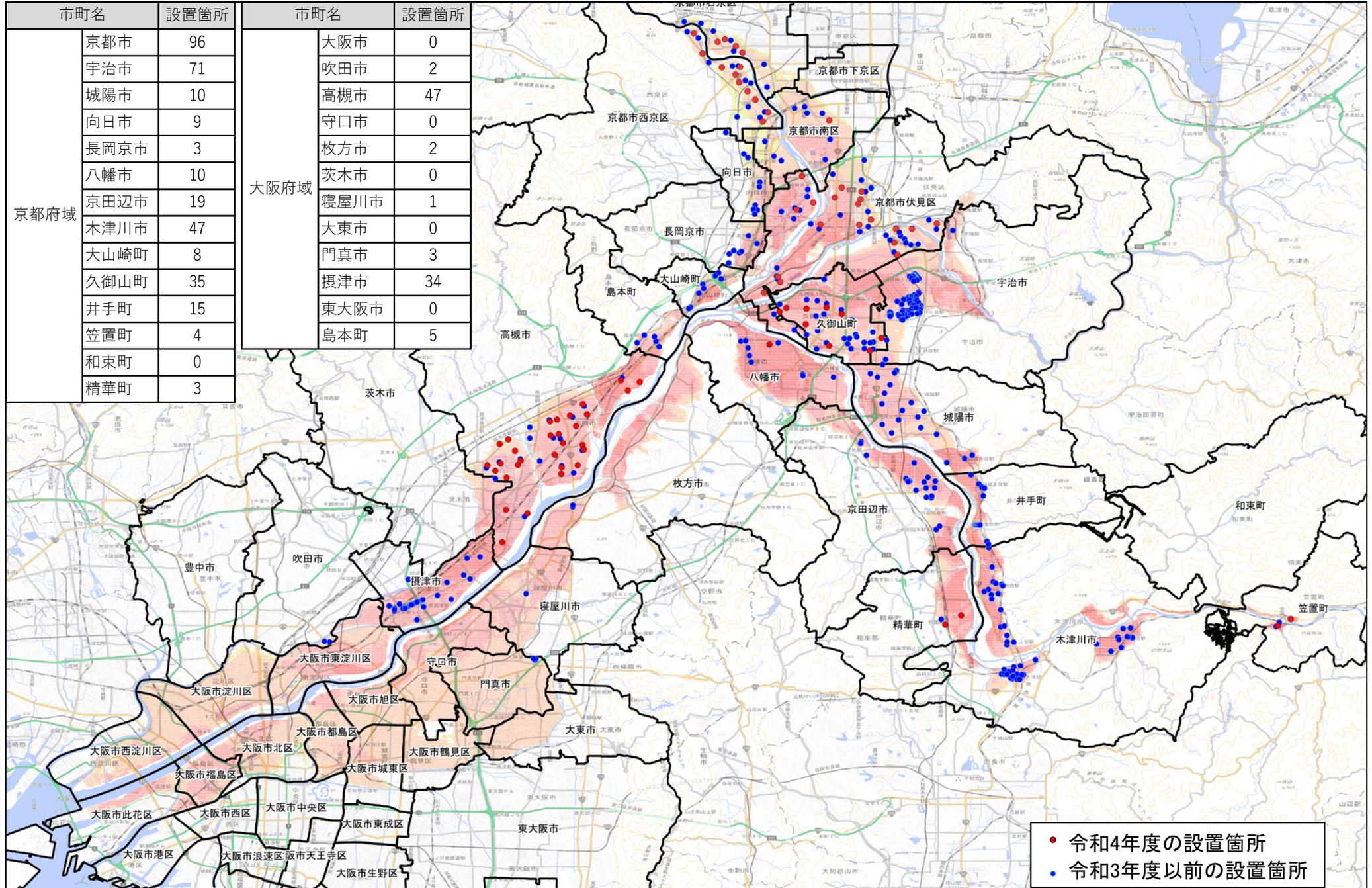


鉄道ワーキンググループ(合同) (1/24)

議論詳細

- 災害発生時における駅周辺の人々の滞留状況についての情報は、市町の一時滞在施設開設の判断につながるため、鉄道事業者からの情報提供の仕組みづくりが必要である。
- 常設掲示は、駅の有人・無人、掲示場所の有無等、状況によって異なるが、基本的に協力していきたい。個別に相談いただきたい。

2. まるごとまちごとハザードマップ



2. まるごとまちごとハザードマップ

1. まるごとまちごとハザードマップの設置状況

■高槻市における設置状況

実施内容

●小中学校の校舎や電柱に看板を設置



冠小学校



第六中学校



西大冠小学校



丸橋小学校



如是小学校

■京都府域における設置状況

実施内容

●住民が集まる集会所、公園や公民館・役場付近の電柱や壁面に看板を設置



五区集会所(八幡市)



下鳥羽公園付近(京都市)



南区公民館(精華町)



笠置町役場(笠置町)

◆令和4年度 まるまちHMの設置状況

市町名		設置箇所
大阪府域	高槻市	30
	京都市	35
京都府域	八幡市	1
	久御山町	9
	精華町	2
	笠置町	2
淀川管内	大阪府計	30
	京都府計	49
	合計	79

3. まるごとまちごとハザードマップの高度化

まるごとまちごとハザードマップの高度化

実施内容

- これまでのまるごとまちごとハザードマップ（まるまちHM）に比べてさらに分かりやすく、実際の浸水深が一目でわかるように工夫することで、設置後も浸水リスクをより多くの住民に理解してもらうことができます。
- 二次元バーコードにより自治体の防災情報サイトに接続が可能となります。
- 二次元バーコードを活用した避難訓練や防災マップの作成にも活用できます。

■ 京都市における設置

● 電柱に青色シートでラッピングして設置

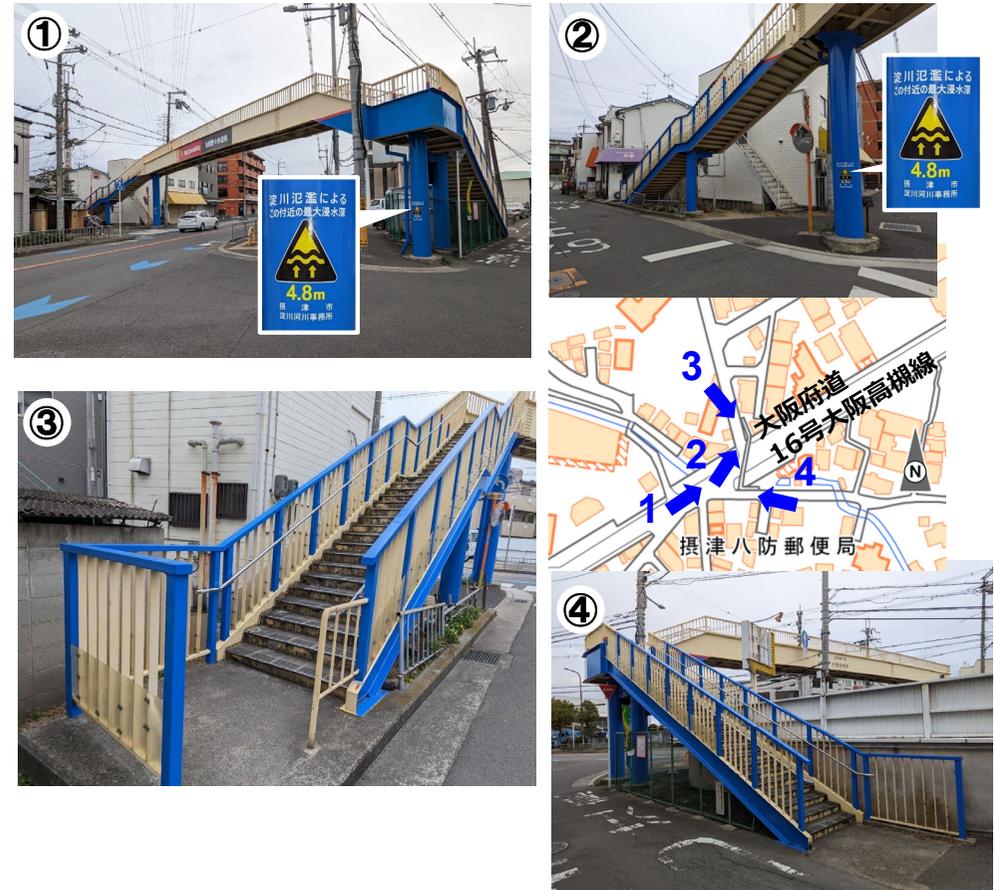


二次元バーコードによる防災情報の取得



■ 摂津市における設置

● 交通量の多い府道に架かる歩道橋に設置（青色塗装）



4. 淀川河川事務所における取組

防災学習動画のホームページ更新

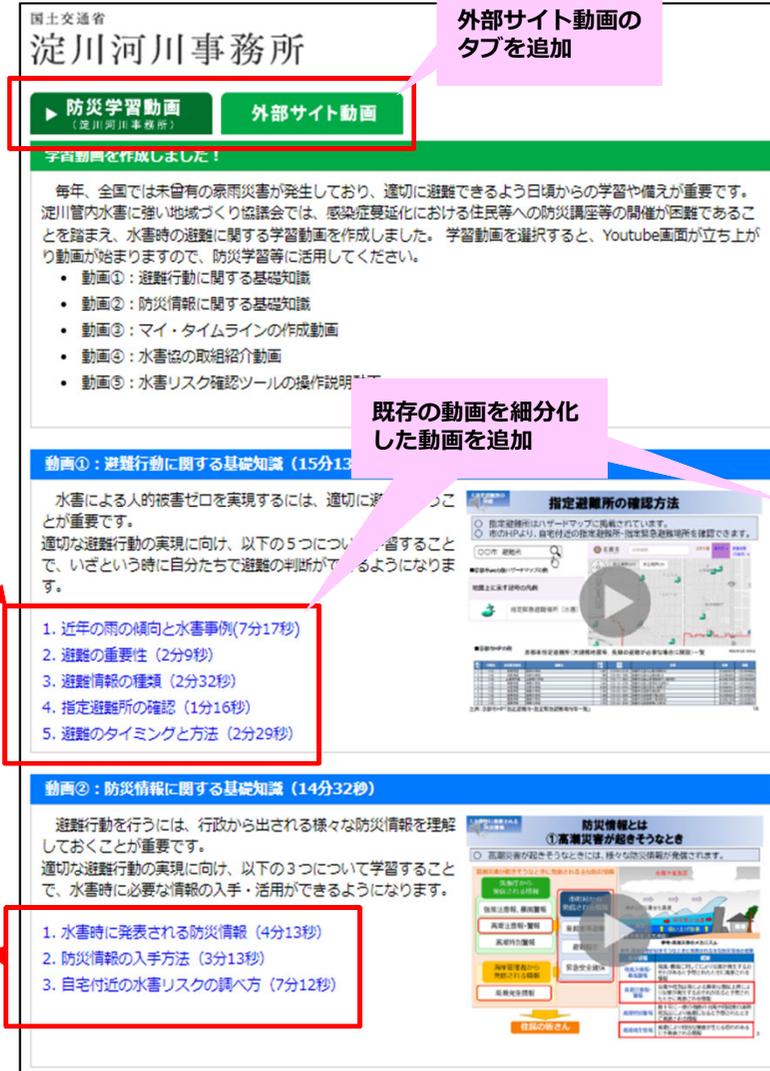
実施内容

● 研修会や勉強会の代替ツールとして、淀川河川事務所ホームページに避難行動や防災情報の基礎知識、ソフト対策の取組事例に関するオンライン学習動画を掲載しています。
動画の細分化・外部サイト動画を追加し、より活用しやすいホームページに更新しました。

更新前のホームページ

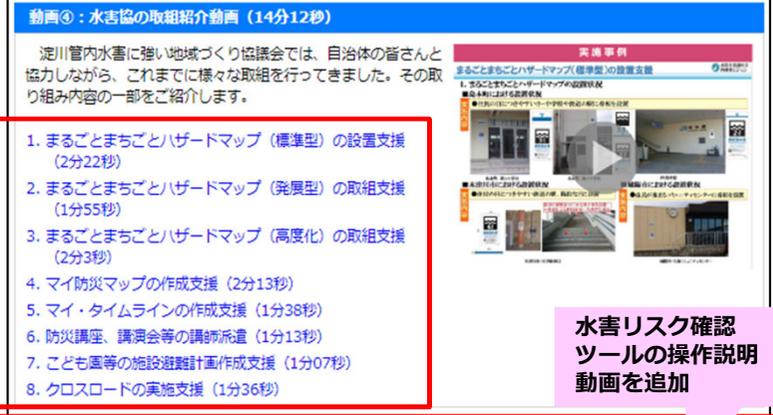
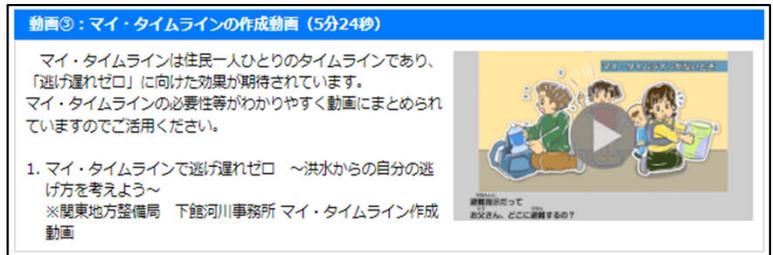


更新後のホームページ

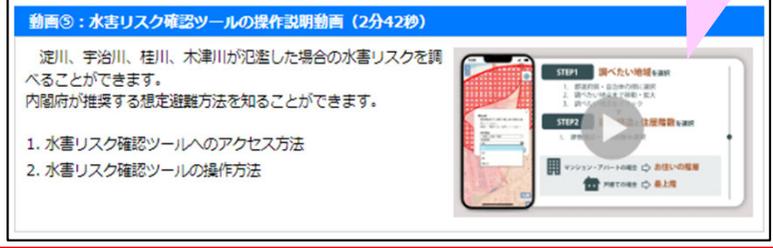


外部サイト動画のタブを追加

既存の動画を細分化した動画を追加



水害リスク確認ツールの操作説明動画を追加



更新・追加した箇所

令和4年度における 市町等の取組状況



水防災意識社会
再構築ビジョン

目次

大阪市（ハザードマップ作成・周知、要配慮者利用施設における避難計画の作成等）	11
吹田市（ハザードマップの周知）	13
高槻市（市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練）	14
枚方市（地区防災計画の作成支援（避難マップの作成））	15
茨木市（まるごとまちごとハザードマップ）	16
寝屋川市（防災行政無線にサイレン（警報音）を導入）	18
門真市（避難所検索サービスの開始）	19
摂津市（まるごとまちごとハザードマップ（高度化）の設置、防災サポーターに対するマイタイムライン作成研修会の開催、広域避難シミュレーションの実施）	20
島本町（避難訓練の定期的な実施）	21

大阪市の取組状況について(1/2)

活動報告

■ハザードマップ作成・周知

- 令和3年に平成27年の水防法改正に合わせた水害ハザードマップを新しく作成し、その中に、マイタイムライン作成フォームおよび水害(大雨・高潮)に対する避難行動フローを掲載しました。
- 令和4年には、令和3年の水防法改正に伴い、令和4年2月に大阪府から中小河川※の浸水想定が公表されたため、中小河川の浸水想定区域図を水害ハザードマップに追加し、日本語版と翻訳(英語、中国語、韓国・朝鮮語)版を作成し、HPに掲載しました。

令和3年度

- 水害ハザードマップ印刷(5月~7月)
- HPの更新(7月16日)
- 市役所・各区役所・大阪市サービスカウンターなどで、配架(7月16日~)
- 全戸配布(7月16日~8月31日)

令和4年度

- 中小河川※の浸水想定区域図を水害ハザードマップに追加(5月~)
- 市役所・各区役所・大阪市サービスカウンターなどで、配架(5月~)

※中小河川：大阪市域を流れる大阪府が管理する洪水予報河川、水位周知河川以外の河川
 ・旧淀川流域等の河川(大川・堂島川・安治川、土佐堀川、木津川、尻無川)

(令和3年作成)

(追加版)

「水害ハザードマップ」(令和3年3月版)の追加について
 【北区】

大阪府より、令和4年2月に新たな洪水浸水想定区域図が公表されましたので、水害ハザードマップ(令和3年3月版)に下記図面を追加します。

浸水想定条件	公表年月	問合せ先	電話番号
大阪府域に高潮警報が発表 24時間総雨量 683mm 1. 時間最大雨量 138.1mm	令和4年2月	大阪府 西大阪治水事務所	06-6541-7771

※大阪府域に高潮警報が発表(本津川河口、堂島川河口、尻無川河口)された状況で、想定最大規模の雨が降った場合に浸水が想定されています。

■ 要配慮者利用施設における避難計画の作成等【避難確保計画の策定】

活動報告

- 避難確保計画の作成提出施設数の向上に向け、専任職員を雇用し、未提出施設に対し、個別相談や助言・督促を電話で直接行い、且つ、市HPにおいて、計画作成方法の支援ツールとして、ひな形等を掲載の上、作成方法の解説動画も公開する。
- 未提出施設には施設名の公表を行う旨の「通告書」を送付し、期限内に全ての対象施設から計画を受理。

■ 取組事例・成果

The screenshot shows the Osaka City website's page for evacuation plan creation. It includes a search bar, navigation tabs, and a main content area with sections for '動画による解説' (Explanation by video) and '4. 提出について' (About submission). The video section lists three parts: Part 1 (Preparation), Part 2 (Creation), and Part 3 (Map). The submission section lists two parts: (1) Submission and (2) Submission and submission method.

□ 令和4年4月に大阪市地域防災計画に位置付けられた大阪市域内の全対象施設(6,435施設) に対する作成済み施設数

R5年3月末 6,435施設(100%)

□ 専任人員による施設への個別相談や助言・督促を電話で直接行う等、きめ細やかな支援・対応を実施(随時)

活動の効果
ならびに
今後の課題

【効果】

- 未提出施設毎に個別アプローチを行い、計画作成の意図と作成方法を理解していただくことで、提出数の向上につながった。

【課題】

- 本市においては要配慮者利用施設の数が多く、その開廃も頻繁にあることから、避難確保計画の作成・提出が必要となる施設の指定更新を定期的に行っていく必要がある。

■ハザードマップの周知について

活動報告

- ハザードマップを防災ブックの中に組み込み、冊子化
- 啓発グッズとしてハザードマップを印刷したクリアファイルの作成

■ 取組内容

● 防災ブックの改訂

既存の防災ブックについて、避難所での感染症対策や女性の困りごと等、防災に関する新たな情報を盛り込んだ内容に更新を図るとともに、防災ブックとハザードマップをあわせて一つの冊子にまとめ、保管・持ち運び・確認がしやすいものを作成。

● 啓発用クリアファイルの作成

ハザードマップの存在を市民の皆様にご認識し活用していただけるよう、日常的に使えるグッズとして、ハザードマップを印刷したクリアファイルを作成。



高槻市の取組状況について

市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

活動報告

特別警報級の台風接近に伴う大規模風水害・土砂災害を訓練想定とし、タイムライン(避難行動計画)に沿って、自助・共助・公助の各分野において訓練を実施。【訓練期間 令和5年1月23日(月)～29日(日)】

○1/23(月)～27日(金)防災情報取得訓練

○1/28(土)市民避難訓練(40か所)、市営バス避難者輸送訓練、災害対策本部図上訓練、情報収集伝達訓練、水防訓練、救援物資配送訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練等

参加者 約5,700人



市民避難訓練

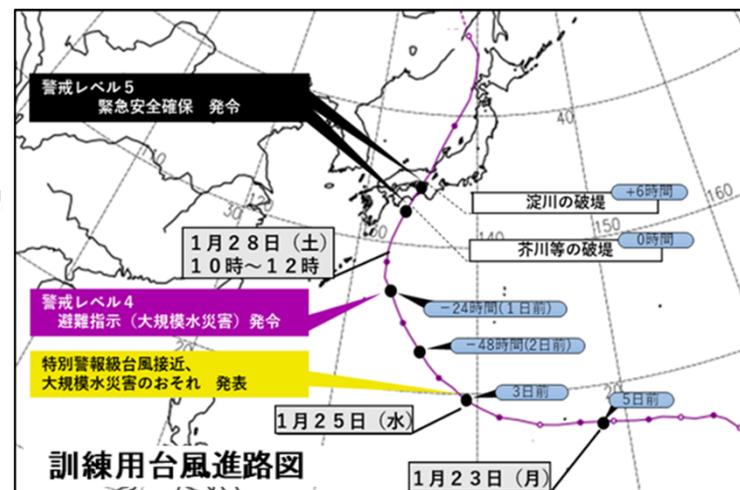


市営バス避難者輸送訓練



近畿地方整備局ヘリ

情報収集伝達訓練



訓練用台風進路図

○1/29日(日)総合防災訓練フェス(安満遺跡公園)

総合救助訓練、特殊車両展示・体験、ハザードマップ出前講座、パネル展示、防災資機材展示・体験、防災クイズラリー、自衛隊カレー試食等

参加者 約26,000人



総合救助訓練



特殊車両展示・体験



ハザードマップ講座



パネル展示

活動の効果
ならびに
今後の課題

【効果】 実際の時間軸に沿った訓練を実施したことで、市民・関係機関ともに、大規模風水害・土砂災害時における警戒・避難体制について確認することが出来たことに加え、総合防災訓練フェスでは、気軽に防災を体験出来る機会を創出し、多世代に参加いただけた。

【課題】 今後、本訓練の課題等を踏まえ、大規模水害・土砂災害をシナリオとした多機関連携型タイムラインの策定や、同想定における避難行動を分かりやすく示した市民向けのリーフレットを作成し、周知啓発を行っていく必要がある。

枚方市の取組状況について

■ 地区防災計画の作成支援(避難マップの作成)

活動報告

- まち歩きやグループワークを通して、地区防災計画の作成支援を行いました。
- 計画には、地区の災害リスク、コミュニティタイムライン(災害時にとるべき行動)、避難所までのルートなどを定めています。
- これまでに**42の校区・自治会**が計画を策定しています。また、策定した計画は本市ホームページで公開し、他の地域と共有を行っています。
(本市地区防災計画ホームページ)

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/kikikanri/0000037940.html>



■ 作成のステップ例



まち歩き

地域の災害リスクや特性について、まち歩きやハザードマップを使って把握。まち歩きは、徒歩での避難、車いすでの避難などあらゆるパターンで検証します。



グループワーク

まち歩き等から見えた課題やその対策について、住民同士で話し合います。話し合った結果をもとに「地区防災計画」を策定します。計画は随時見直され、地域の防災活動に活用されます。



項目	枚方市		地区防災計画		避難マップ		その他
	実施主体	実施内容	実施主体	実施内容	実施主体	実施内容	
地区防災計画	自治会・町会	地区防災計画の作成	自治会・町会	地区防災計画の作成	自治会・町会	地区防災計画の作成	
避難マップ	自治会・町会	避難マップの作成	自治会・町会	避難マップの作成	自治会・町会	避難マップの作成	
コミュニティタイムライン	自治会・町会	コミュニティタイムラインの作成	自治会・町会	コミュニティタイムラインの作成	自治会・町会	コミュニティタイムラインの作成	

茨木市の取組状況について(1/2)

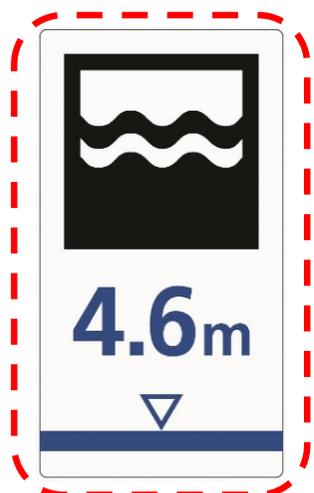
■まるごとまちごとハザードマップ

活動報告

●安威川等の氾濫に備え、水害リスクを日常から視覚的に意識し、災害時の適切な避難行動につなげるため、生活空間である“まちなか”をまるごとハザードマップに見立て、市内で浸水が想定される指定避難所44か所及びその他市有公共施設43か所に、想定される最大の浸水深を表示する標識を設置。

※淀川の浸水想定区域内：指定避難所5か所及び市有公共施設4か所

■取組事例



浸水深表示板



フォトモンタージュ

指定避難所44か所については、実際に浸水した場合をイメージしたフォトモンタージュを作成し、QRコード化したものを、表示内容説明板に掲載。

「表示内容説明板」を施設入口付近など目立つ位置に設置。

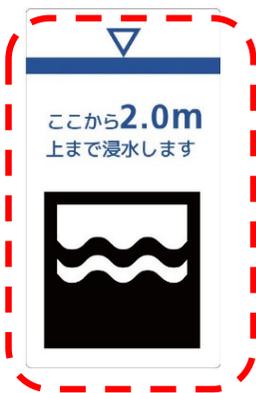
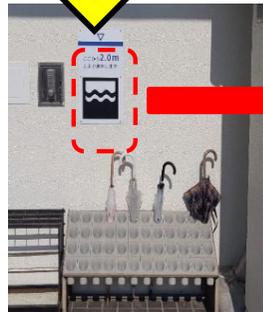
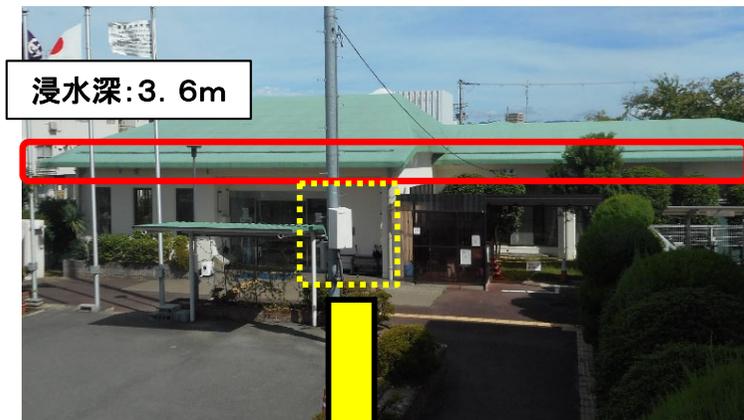
茨木市の取組状況について(2/2)

■まるごとまちごとハザードマップ

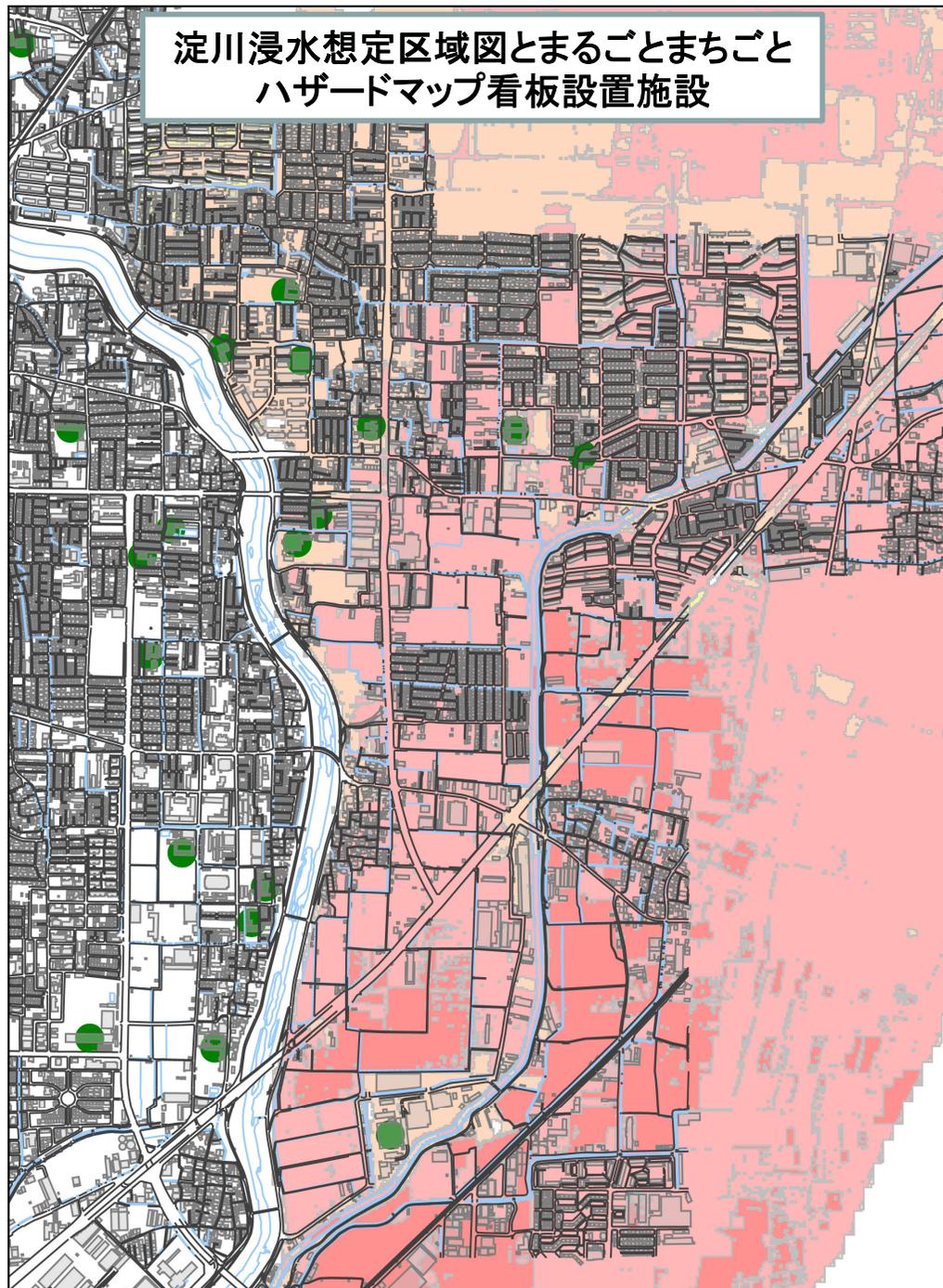
施設の構造上、浸水深の高さに浸水深表示板を設置することができない場合



実際の浸水深の高さではなく、目に入りやすい高さに設置し、看板デザイン内に「ここから〇m上まで浸水します」と文言を追加し、浸水の高さをイメージ



浸水深表示板



寝屋川市の取組状況について

■防災行政無線にサイレン(警報音)を導入

活動報告

- 市民の方から、「防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい。」との意見が度々あり、情報伝達に課題があったため、警戒レベル3(高齢者等避難)以上の避難情報などをお知らせする時には、市民の方が迅速な避難行動がとれるよう、サイレン(警報音)を流した後、音声放送を流すこととした。
- サイレンを導入することで、音声放送を聞く前でも危険が迫っていることを認識してもらい、防災行政無線による情報伝達の即時性を向上させ、音声放送を聞き取れなかった場合に放送内容(避難情報)を確認することができる「電話応答サービス」の専用電話回線を6回線から64回線に増やすなど、防災・減災対策の強化を図った。

【関係団体・市民等への周知】

- 団体への説明(9月)
(市政協力委員自治推進協議会、地域協働協議会、寝屋川市老人クラブ連合会)
- 広報11月号掲載
- チラシ・マグネット市内全戸配布
(広報11月号と同時配布)
- 報道提供(11月30日産経新聞掲)

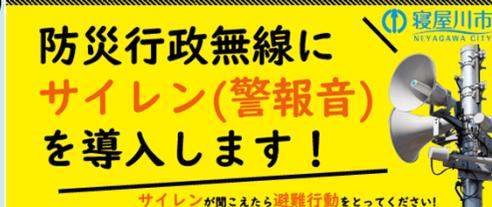
【試験放送の実施】

- アプリ「もっと寝屋川」、メールねやがわ、Facebook、Twitter

【サイレン事業の実施】

- アドバンスねやがわADVANCEビジョン壁面デジタルサイネージ広告
(11月19日~12月1日)

(表)



なぜ、サイレン(警報音)を導入する?
A 市民の皆様から「防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい」とのご意見を頂いていたからです。次のとおり2点改善します。

改善点① サイレンの導入
警戒レベル3(高齢者等避難)以上の避難情報などをお知らせする時には、迅速な避難行動がとれるようにサイレン(警報音)を流します。

改善点② 電話応答サービス回線増
放送を聞き取れなかった場合、「電話応答サービス」で放送内容(避難情報)を確認することができます。
「大事な時に繋がりにくい」を回避するため、専用電話回線を大幅に増設(6→64回線)します。

サイレン(警報音)の試験放送を行います!
試験放送日 令和4年11月15日(火)・19日(土)いずれも午前11時~
導入開始日 令和4年12月1日(木)~

確認 放送が聞き取れなかった場合は電話応答サービスの専用電話番号をご利用ください。
専用電話番号 ※通話料がかかります
072-824-2037

サイレン(警報音)の種類や防災行政無線以外の災害情報の確認方法は裏面へ!

(裏)

サイレン(警報音)の種類について

緊急安全確保 「サイレン7秒 → 1秒休み」を3回くり返します
避難指示 「サイレン7秒 → 1秒休み」を3回くり返します
高齢者等避難 「サイレン3秒 → 1秒休み」を3回くり返します

サイレン(警報音)が長い場合は 緊急度が高い情報 です

警戒レベル	とっていただきたい行動	サイレン(警報音)の種類
警戒レベル5 緊急安全確保	命を守る行動をとってください!	サイレン 7秒吹鳴 サイレン 7秒吹鳴 サイレン 7秒吹鳴
警戒レベル4 避難指示	危険が迫っています! すぐに危険な場所から避難して(逃げてください)!	サイレン 7秒吹鳴 1秒休み サイレン 7秒吹鳴
警戒レベル3 高齢者等避難	避難に困難がかかる人は、危険な場所から避難して(逃げてください)!	サイレン 3秒吹鳴 1秒休み サイレン 3秒吹鳴

※避難とは「襲」を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

防災行政無線以外の災害情報の主な確認方法

サイレン(警報音)が聞こえたら、テレビ、ラジオ、市ウェブサイト等から正しい情報を確認し、落ち着いて避難行動をとってください。

緊急速報メール(携帯電話等)

NHK総合テレビ等のd(データ放送)ボタン

ラジオ

寝屋川市公式ウェブサイト

寝屋川市公式アプリ「もっと寝屋川」

防災情報メール(おおさか防災ネット)

問合せ先 寝屋川市 危機管理部 防災課 ☎ 072-825-2194

■避難所検索サービスの開始

活動報告

- 災害時の避難所への経路を配信するための「門真市公式LINE情報配信サービス(避難所検索)」の運用開始
- 対象者：携帯電話やスマートフォンを持っている人
(門真市公式アカウントを友だち登録することで利用可能)
- 事業成果：避難所の検索機能の利用件数:114件
※対象期間は令和5年1月31日～同年3月31日

サービスの詳細情報



LINE : 避難所検索



摂津市の取組状況について

活動報告

- まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置(1カ所)
- 防災サポーターに対するマイタイムライン作成研修会の開催
- 広域避難シミュレーションの実施



まるごとまちごとハザードマップ
(高度化)



防災サポーター
マイタイムライン作成研修会



広域避難シミュレーション

活動の概要等

- 洪水に関する情報の普及浸透に向け、想定最大浸水深の見える化を行った。
- マイタイムラインの作成促進に向け、防災サポーターに指導者となっていただくための研修会を開催した。
- 水害時の円滑な避難に向け、広域避難シミュレーションを実施し、啓発動画を作成した。

島本町の取組状況について

■ 避難訓練の定期的な実施

[職員防災訓練]

茨木保健所の方にも協力いただき作成した「島本町コロナウイルスまん延下における避難所運営マニュアル」に沿った避難所運営訓練を令和4年6月3日に実施しました。

訓練は2部構成とし、第1部として新型コロナ対応の避難者受付チェックシートによる、避難者の受付時のロールプレイングを保健師も参加し実施しました。

第2部では、避難所の設営訓練として、陽性者等の専用ゾーンの確認や、メッシュテントとダンボールベッドを組み合わせた避難所レイアウトを設営する訓練を実施いたしました。



避難者の受付時の
ロールプレイング

島本町コロナウイルスまん延下
における避難所運営マニュアル



[防災とボランティア講演会]

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため2年間中止していた防災とボランティア訓練を引き続き感染が拡大していることから訓練と講演会方式に縮小し、令和5年1月15日に自主防災会、自治会を対象に開催しました。

自主防災会の避難所開設訓練として、段ボールベッドとメッシュテント、プライバシーシートの設置訓練を行った後、講師として気象庁が「大雨による災害から命を守るために」、淀川河川事務所が「水害への備え」と題し、講演を行っていただきました。

自主防災会の避難所開設訓練



淀川河川事務所、気象庁職員を講師に招き講演会を開催